

倫理委員会で提出される研究計画書の抜粋で構いませんので入力またはコピーをお願いします。  
 下記に作成例が 3 つあります。

研究課題名 (倫理委員会承認番号)	COVID-19クラスター発生時のリハビリテーションの成果 202312
当院の研究責任者(所属)	岡田 和紀(リハビリテーション部)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	目的:2023年のコロナ禍の病院・リハビリ部の取り組みと実績を報告する。 意義:コロナ禍の状況を報告し議論することで、感染対策やリハビリの今後の 関わり方を深める。
調査データの該当期間	2023年1月1日～2023年12月31日
研究の方法 (対象となる方)	2023年にコロナに罹患した患者、スタッフ数、隔離日数
研究の方法 (使用する情報)	2023年、電子カルテ・院内保管の感染者リストをもとにリハビリ職員感染者数 の算出、患者隔離者数や隔離日数、経時的な傾向を分析して考察する。
資料・情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形 としない。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	翠清会梶川病院リハビリテーション部 岡田和紀
備考	

以下、作成 3 例 ↓↓

以下、作成 3 例 ↓↓

1 部目 リハ部岡田作成

2 部目 大田記念病院 HP オプトアウト書類より

3 分目 君津中央病院 HP オプトアウト書類より

研究課題名 (倫理委員会承認番号)	COVID-19クラスター発生時のリハビリテーションの成果 202312
当院の研究責任者(所属)	岡田 和紀(リハビリテーション部)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	目的:2023年のコロナ禍の病院・リハビリ部の取り組みと実績を報告する。 意義:コロナ禍の状況を報告し議論することで、感染対策やリハビリの今後の開き方を深める。
調査データの該当期間	2023年1月1日～2023年12月31日
研究の方法 (対象となる方)	2023年度の病院全体と病棟、リハビリ部のコロナに関連する経過と取組をまとめて考察する。
研究の方法 (使用する情報)	2023年、電子カルテ・院内保管の感染者リストをもとにリハビリ職員感染者数の算出、患者隔離者数や隔離日数、経時的な傾向を分析して考察する。
資料・情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	翠清会梶川病院リハビリテーション部 岡田和紀
備考	

研究課題名	脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究
倫理委員会承認番号	218
当院の研究責任者（所属）	大田 慎三（脳神経外科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	坂井 信幸（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科）
本研究の目的	脳卒中急性期医療を担う医療機関において、新型コロナウイルス感染症拡散等に伴う脳卒中診療体制の変革を調査し、今後の急性期脳卒中医療の充実に資する指針を検討し、その安全性、有効性、効率性等の検証を行う。
調査データの該当期間	2019年1月～2021年12月
研究の方法（対象者）	上記期間中に当院に入院した急性期脳梗塞患者のうち、機械的血栓回収療法を施行した患者。
研究の方法（使用する情報）	年齢・性別・診療情報・血栓回収療法の治療結果など
試料／情報の他機関への提供	個人情報を削除した調査項目（エクセルファイル）を、研究事務局に mail で送付する
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	

研究課題名	嚙下音を音響分析により客観的に評価する試み（倫理委員会承認番号：563、313）
当院の研究責任者 （所属）	古川 大輔（リハビリテーション科 言語聴覚室）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	千葉大学大学院工学研究院情報科学コース 黒岩眞吾 静岡大学情報学部情報科学科 西村雅史
本研究の目的	本研究は、当院に入院され、嚙下障害及び誤嚥性肺炎が疑われた患者さまに嚙下評価を実施し、その際に収集された顎部の聴診音をを用いて、音響分析を行います。嚙下音の音響特性が抽出され、可視化されることで「顎部聴診」による評価精度の向上が期待されます。
調査データの 該当期間	2015年3月1日から2023年3月31日まで
研究の方法 （対象となる方）	該当期間に当院に入院され、言語聴覚士による嚙下評価を受けられた患者さま
研究の方法 （使用する情報）	基本情報（年齢、性別、原疾患）、顎部聴診の音響データ、嚙下内視鏡、嚙下造影検査、各種嚙下スクリーニング検査の結果
資料・情報の他機関 への提供	千葉大学大学院工学研究院 及び 静岡大学情報学部情報科学科
個人情報の取扱い	収集したデータは匿名化した上で解析し、厳正に管理します。本研究で知り得た情報は研究以外の目的には一切使用せず、研究結果を学会・医学雑誌等で公表する場合にも個人が特定されないようにいたします。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。

君津中央病院オプトアウト様式 資料2

お問い合わせ先	君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室 言語聴覚士 古川 大輔 電話：0438-36-1071
備考	